

ふるさと歴史散歩 244

～松前史談会レポート～

矢取川水論の地めぐり Ⅲ

砥部町宮内の大森彦七供養塔から北へ向かい、重信橋を渡つてすぐ西に折れ、徳丸村が開発した森松(松山市)の夫婦泉を訪ねる。

矢取川水論の起きる前から一之井手の取水に苦しんできた徳丸は、水源の探索に余念がなかった。享保9(1724)年、ようやく対岸の森松村下河原に豊富な伏流水を発見した。庄屋安永孫四郎は、泉の開発を公儀に願い出るが、森松の反対が強く交渉に苦労する。幸い代官の協力があり北泉が完成した。しかし、干ばつ時にはなお不足するため新泉の増設を計画するも、麻生・井門両村に反対される。いずれの地域にとっても作りに欠かせない水は命の次に大事なもので、ここでも水論が起きた。宝暦7(1757)年、粘り強い交渉のすえ南泉が開発され、北泉と共に夫婦泉と名付けられた。

この用水を対岸の徳丸に引くため重信川を横切り、河床約360mを掘つて溝渠を設置した。しかし、一雨あれば流失し、そのたびに村中総出で修復していたが、この作業は村人に大きな負担となつた。樋埋設が多年の懸案であったが、昭和3(1928)年、待望の暗渠

埋設が完成した。高忍日賣神社にこの樋の完成を記念し、水野広徳が撰文した「暗渠埋設碑」が建てられている。

その後、昭和26年(1951)、平成11(1999)年に暗渠改修工事が行われ、徳丸にとって貴重な財産となり今日に至つては、一行は徳丸側の取水口を訪ね、先人の苦労を偲び歴史散歩を終えた。(麻生英毅記)

【参考文献】「徳丸の水とくらし」『北伊予の伝承』VIII・松前町東公民館編 2006、「ふるさと歴史散歩165(山本明)』『広報まさき』松前町2019、「松前町誌」松前町1979、データベース『えひめの記憶』愛媛県生涯学習センター



重信川流域で開発年が判明しているもの中では最も古い泉である。左側が北泉で地元の人は「ひや泉」・「南泉」を「ぬく泉」と呼んでいる。水温が24℃ほど違うようである。現在は松前町が管理している



昭和3年、待望の暗渠埋設を記念して水野広徳(前略)「一二水利・安定・保チニ無益・労費ヲ省キニ鄰周トノ紛議ヲ去一挙シテ三徳(後略)」と記している。

水野広徳は、松山市に生まれ海軍軍人として日露戦争を戦い、著書「此一戦」は戦記文学として広く読まれた。しかし、第一次世界大戦の惨状を目当たりし、人道的平和主義者へと思想的大転換を遂げる。退役後も太平洋戦に向う社会情勢の中で、軍縮・非戦の論陣を張り��けた。碑の脇に昭和3年に埋設した土管が展示されている

9月の歴史散歩は実施しません。

松前史談会(麻生) 090-4472-8136



【開館時間】9時～22時 【休館日】12月28日～1月4日
 ◆東公民館 神崎210 ☎ 984-1159 FAX 984-1457
 ◆西公民館 北黒田966-2 ☎ 984-5313 FAX 984-5313
 ◆北公民館 昌農内456-1 ☎ 984-7529 FAX 984-9398

西公民館で高齢者向けeスポーツを開催します。7月23日に体験会を行い、約20人が「太鼓の達人」と「ぷよぷよ」を体験しました。

eスポーツは初めてという人ばかりでしたが、何度か体験するうちにコツをつかんでいました。

健康寿命を延ばすためには、社会活動への参加やゲームで楽しく脳トレをして認知症予防をするのがいいそうです。家族や友達と一緒に、気軽に参加してください。

▶日時 全日程 13時30分～15時30分
 9月10日(水)、24日(水)、10月17日(金)、29日(水)
 11月12日(水)、19日(水)、12月10日(水)、24日(水)
 令和8年1月7日(水)、21日(水)

※ 内容や日程が変更になる場合があります。



みんな笑顔がいっぱい
 リズムに合わせて四苦八苦



ぬいぐるみのおとなり会

大好きなぬいぐるみと一緒におはなし会を楽しんだ後、ぬいぐるみは図書館におとなり。ぬいぐるみたちのおとなりの様子をアルバムにしてプレゼントします。

※ おはなし会はどなたでも参加できますが、おとなりには申し込みが必要です。

◆日時 9月27日(土) 11時～

◆場所 文化センター2階 ふるさと学習室

◆定員 5組(小学校2年生以下の子ども1組とぬいぐるみ1体で1組)

◆締切 9月7日(日)

◆申込方法

カウンターで申し込む。

※ 応募多数の場合は、抽選。



◆新着本 紹介

毎週新しい本を入荷し、随時、新着本コーナーに展示しています。貸し出し状況、予約状況はお問い合わせください。

▶天空遊園地まほろば
 浜口倫太郎・著
 ボブラン



ここは、もう二度と会えないあなたの大切な人と「再会」できる場所。ですが当園では泣くことは禁止です。残された人々が自分の心と向き合い、未来へ歩み出す姿を描く、胸を震わせる5つのやさしい物語。

▶マザーアウトロウ
 金原ひとみ・著
 U-NEXT



上下金色でかためたアッパーな53歳の義母・張子。考え方もバイブルも違う、エネルギッシュな張子に付き合っていくうちに、嫁姑を超えた関係になっていく。対立構造ではない、爽快な嫁姑物語。

▶汚名
 和田はづ子・著
 PHP研究所



佐賀の貧しい農家に生まれた伊東玄朴は、シーボルトの弟子になって、江戸で医者として開業する。出世と金にしか興味がない男との悪評を浴びつつも、天然痘と戦い続けた医師の生涯を描く、歴史小説。

▶君たちはなぜ、そんなことしてるのか?
 松原始・著
 山と渓谷社



人間をミツバチの巣へ案内する鳥、キリンの首が長い本当の理由…。君たちはなぜ、そんなふうに生きているの?ユーモア&愛あふれる動物行動学・超入門。

▶これでわかる!
 韓国のからの常識
 ルナ・キヨン・著
 原書房



通貨や言葉、料理や服装、K-POPや韓国ドラマなど。伝統的な文化から最新の流行まで、気になる韓国の日常の1コマを、かわいいイラストでやさしく解説。

▶うっかり書房
 そのだえり・作
 理論社



本が大好きなワオキツネザルのワオくん。とうとう本でお家が壊れてしまいそうになり、本屋さんを開くことに。本のお楽しみがいっぱいの「うっかり書房」はこちらです。